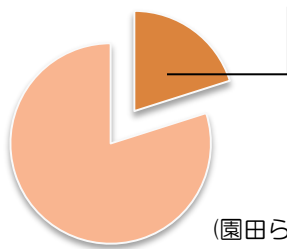


研究特集「乳酸菌KT-11によるペットのアトピー性皮膚炎の改善効果」

アレルギー疾患に苦しむペットが増加しています！

犬の皮膚炎の罹患率は20.1%

109症例/全543症例 (20.1%)



(園田ら, 2005年)

乳酸菌KT-11

乳酸菌KT-11は、信州大学の太谷教授と株式会社キティーとの共同研究において、免疫調節効果に優れた乳酸菌として発見されました。これまでに、アトピー性皮膚炎や感染症の予防や改善効果が明らかにされています。



KT-11の電顕写真

乳酸菌KT-11投与により犬のアトピー性皮膚炎の改善効果が観察されました

❖ 症例

犬種	ヨークシャテリア
性別	メス♀ (避妊)
年齢	13歳
皮膚炎罹患歴	10年間



❖ 背部・腰部の皮膚症状の改善

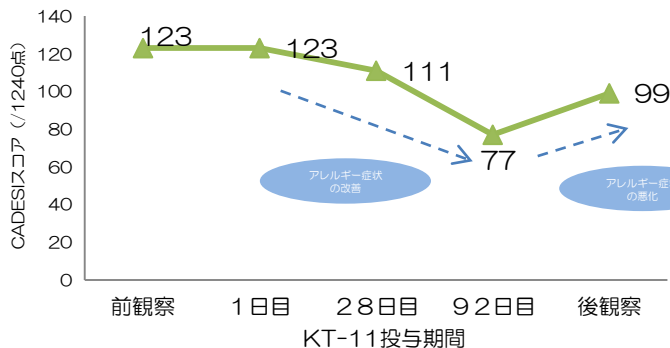
KT-11の投与により背部の紅斑・色素沈着が改善されました。



❖ アレルギー症状のスコア (CADESI)

CADESIスコアは投与開始から28日目以降で大幅に低下しました。投与を中止した後の観察ではスコアの上昇が観察されました。

症状は、【紅斑】【表皮剥離】【自己誘発性脱毛症】【苔癬化】について、なしを0、軽度を1、中等度を2～3、重症を4～5点として評価しました。



乳酸菌KT-11の抗アレルギー作用とそのメカニズム

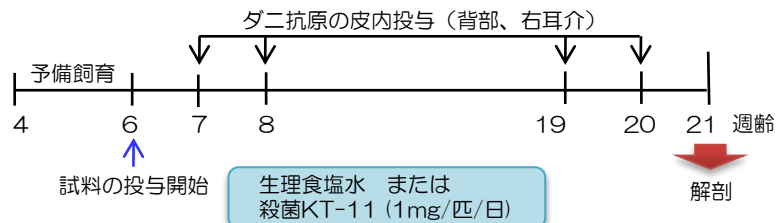
乳酸菌KT-11の乾燥菌体1mgをNC/Ngaマウスに経口投与しながら、ダニアレルギー感作処理を行うと、乳酸菌KT-11非投与の場合よりも、アトピー性皮膚炎を軽減し、その要因としてTh1/Th2バランスを改善することにより、血液中のダニ特異IgE生産を抑制することが明らかになりました。

アトピー性皮膚炎マウス
(NC/Nga)



ダニ抗原の連続皮内投与により
アトピー性皮膚炎を発症

【飼育スケジュール】



皮膚炎の軽減

KT-11投与群では非投与群と比較してアトピー性皮膚炎の症状が軽減しました。

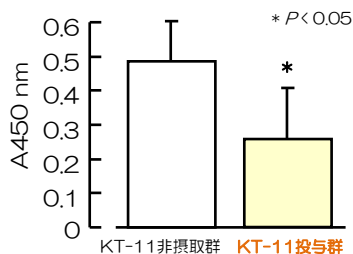


KT-11非摂取群

KT-11投与群

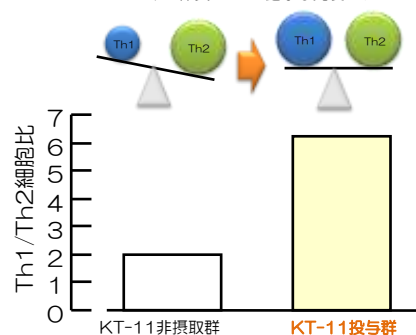
血液中のダニ特異IgEの減少

KT-11投与群では非投与群と比較して型アレルギーに関与するダニ特異IgEレベルが減少しました。



Th1/Th2バランスの改善

アレルギー体質 健康な免疫バランス



Tobita et al. J. Agric. Food. Chem. 54, 8013-8017(2009).

ペットでも乳酸菌KT-11の効果に期待！

近年、花粉症や卵アレルギーを発症する人が増えています。このような過剰に清潔な生活環境により、免疫バランスが破綻したことが、アレルギー発症の原因と考えられています。

同様に、ペットのアトピー性皮膚炎も、免疫バランスの崩れが関係していると言われています。乳酸菌KT-11は、免疫バランスを整えて、健康な状態に導く力を持つ乳酸菌です。



信州大学名誉教授
博士(農学) 大谷 元 先生

【本件に関する御問い合わせ】

株式会社キティ バイオ事業部 〒160-0007 東京都新宿区荒木町5
TEL:03-6457-7990 FAX:03-6457-7992